

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒212-0014
 住 所 川崎市幸区大宮町1310番
 氏 名 川崎化成工業株式会社
 代表取締役社長 中川 淳一 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	川崎化成工業株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区千鳥町1番2号		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	有機酸製品、有機酸系誘導品、キノン系製品の製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		13,478 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	生産技術室
		所在地	川崎市川崎区千鳥町1番2号
		電話番号	044-223-9033
		FAX番号	044-276-1791
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成25年度 ～ 平成27年度 (報告年度 平成27年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 23,609 t-CO ₂ (調) 23,571 t-CO ₂	(実) 24,150 t-CO ₂ (調) 24,112 t-CO ₂	(実) 24,402 t-CO ₂ (調) 24,365 t-CO ₂	(実) 24,470 t-CO ₂ (調) 24,433 t-CO ₂	(実) 25,188 t-CO ₂
削減率		(実) -2.3 % (調) -2.3 %	(実) -3.4 % (調) -3.4 %	(実) -3.6 % (調) -3.7 %	(実) -6.7 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	生産量		単位	t-CO ₂ /t	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	0.2135	0.2190	0.2125	0.2145	0.2071
削減率		-2.6 %	0.4 %	-0.5 %	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	<p>ポンプ等の省エネ及び不良蒸気トラップの更新・整備を実施し、電力及び燃料の使用量を計画通り削減した。 しかし主要製品製造工程で低負荷運転を強いられる期間があり、この間熱回収による蒸気発生量が減ったため、燃料使用量が大幅に増加した。その結果、基準年度より温室効果ガス排出量原単位が悪化し、目標とした原単位1%の改善は達成できなかった。 平成26年度はほぼ従来の運転に戻っている。</p>
第2年度	<p>ポンプ等の省エネ及び不良蒸気トラップの更新・整備等を実施し、電力及び燃料使用量を削減した事、及び、前年の不具合（主要製品工程低負荷運転）を解消した事により、温室効果ガス排出量原単位は前年比で約3%向上したが、基準年度に対しては0.4%の削減にとどまった。</p>
第3年度	<p>冷凍装置及び照明設備を省エネ効果の大きい装置に置き換えることで、計画通り電力を削減することができた。また不良蒸気トラップの更新・整備を実施し、蒸気ロスを抑制した。 しかし主要プラントにおいて、生産調整による低負荷運転の実施等により、熱回収工程での蒸気発生量が減少したため燃料使用量が増加した。 計画書で想定したほど生産量の増加がなかったために、温室効果ガス排出量については目標排出量を下回ったものの、排出量原単位については前年度より悪化し、基準年度に対しても0.5%の悪化となり、目標は達成できなかった。</p>

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○省エネルギー委員会の活動推進 ○電動機器の省エネ ○蒸気使用機器の保温を改善 ○オフィスにおける省エネ活動の推進 ○イントラネット活用による省エネ活動の啓発
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○電動機器の省エネ 運転見直しによりポンプ1台削減、ポンプ(4台)コンプレッサー(1台)を適正能力のものに更新し約85kWの電力削減を図った。 ○照明設備の省エネ 照明設備更新時にLEDを採用し電力削減を図った。 ○不良蒸気トラップの更新・整備 不良蒸気トラップの更新・整備を実施し燃料使用量の削減を図った。 ○蒸気使用機器の保温を改善 劣化した保温の更新を計画的に進め燃料使用量の削減を図った。
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○電動機器の省エネ ・適正能力のポンプ(2台)への更新を実施し14kWの電力削減を図った。 ・蒸気降圧CVを適正仕様に更新、ブロー補助タービン投入蒸気を増やし約10kWの電力削減を図った。 ○照明設備の省エネ 照明設備更新時にLEDを採用し電力削減を図った。 ○不良蒸気トラップの更新・整備 不良蒸気トラップの更新・整備を実施し燃料使用量の削減を図った。 ○蒸気使用機器の保温を改善 劣化した保温の更新を計画的に進め燃料使用量の削減を図った。
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○電動機器の省エネ 吸収式冷凍機を設置し既設スクリー式冷凍機を予備機とすることで、28kWの電力削減及び工場内余剰蒸気の有効利用を図った。 ○照明設備の省エネ 照明設備更新時にLEDを採用し6kWの電力削減を図った。 ○不良蒸気トラップの更新・整備 不良蒸気トラップの更新・整備を実施し蒸気ロスの抑制を図った。 ○蒸気使用機器の保温を改善 劣化した保温の更新を計画的に進め燃料使用量の削減を図った。
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物の分別を徹底する。 ○従業員の通勤は極力、公共交通機関を利用する。 ○クールビズを実施する。 ○川崎温暖化対策推進会議(CC川崎エコ会議)へ参加する。
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物の分別を徹底した。 ○従業員の通勤は極力、公共交通機関を利用した。 ○クールビズを実践した。 ○川崎温暖化対策推進会議(CC川崎エコ会議)へ参加した。
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物の分別を徹底した。 ○従業員の通勤は極力、公共交通機関を利用した。 ○クールビズを実践した。 ○夏季の省エネルギー対策を社内に周知した。 ○川崎市主催事業活動省エネルギー・節電対策セミナーへ参加した。
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物の分別を徹底した。 ○従業員の通勤は極力、公共交通機関を利用した。 ○クールビズを実践した。 ○夏季の省エネルギー対策を社内に周知した。 ○川崎市主催事業活動省エネルギー・節電対策セミナーへ参加した。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	25,987	t-CO ₂
(調)	25,650	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎工場（千鳥）	川崎市川崎区千鳥町1番2号	1634	環式中間物・合成染料・有機顔料製造業	25,944 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	
300～400k1 未満	
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	
100k1 未満	2

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--